

文学を利用した地域計画手法に関する基礎的研究

京都大学工学部 正 員 佐佐木 綱
 京都大学工学部 学生員 堀田 治
 京都大学工学部 学生員 ○竹林 幹雄

1. はじめに 本研究の目的は、地域風土に根ざした文学作品を利用することにより計画対象となった地域住民に愛着があり、かつ、外来の人にも感動を与える地域作りを行うためのヒントを得ることにある。そこで、ある文学作品を特定し、その作品の文学内空間（文学内に演出され、文学作品として完結しているイメージの体系）の特性を知ることにより、文学作品に演出された地域風土の特性を把握することができるのではないかと考えた。そしてそこから、地域に根ざす計画のヒントを得ることができる。今回は、文学作品として宮沢賢治著の「風の又三郎」を用いて研究を行った。

① 分析対象となる文学作品の選定。

② 実験用の刺激語の抽出。（第一段階）

③ ②で抽出した刺激語をもとにした自由連想実験。（事前、事後連想実験）

④ 自由連想実験結果を用いた実験用刺激語の補充作業。（刺激語抽出の第2段階）

⑤ 最終的に抽出した刺激語を用いた制限連想実験。（事前、事後連想実験）

2. 文学内空間のイメージ特性の把握

(1) 心理実験の概要：文学内空間のイメージ特性を知るために、文学が読者に与える心理上的影響を把握することが必要である。そのために心理実験を行う必要がある。文学作品の与えた

図-1 実験の手順

心理上的影響は、文学から抽出した刺激語を用いた制限連想実験における連想パターンの読書前後における変化となって現れるものと考え、図1に示すような手順で実験を行った。

(2) 分析手法の概要：本研究では、連想の過程を単純マルコフ過程であると仮定し、刺激語からの連想の遷移状態を確率で表して遷移確率行列を作り、この行列から得られる極限の状態確率を連想パターンの反映値であると考え。そして、各刺激語の極限の状態確率の読書前後における変化を比較分析することにより、文学の影響を受けた語を特定することができる。この極限の状態確率(%)のことをイメージウェイトと呼ぶことにする。こうして把握された語が、文学内空間のイメージ特性を知る上で大切な語となる。また、イメージウェイトの変化だけでは把握できない文学の影響を知るために、語同士の連想関係を図化し、イメージウェイトの計算結果と併用することにより、よりの確かな影響把握を目指した。

表-1 イメージウェイトの変化(クロス表)～全体～

		事後連想でのイメージウェイト									
		9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
事前連想でのイメージウェイト	9										
	8										
	7										
	6	子供	川		水		空				
	5						雲	青			
	4			遊び	風	雨		太陽			
	3						野原	学校	山、運動場、白	火	
	2						魚	草	大人、先生、教室、林、霧、谷	樹、赤	
	1								栗の木、馬、菊	男、神、タマゴ、ガラス、首飾、意	朝
	0										

注：事前連想と事後連想においてイメージウェイトが変化しなかった言葉

(3) 分析結果：各語のイメージウェイトの読書前後の変化は、表1のようになった。また、連想の関係図と、イメージウェイトの計算結果を併用することにより読書の前後において制限連想用語の構成するイメー

Tsuna Sasaki, Osamu Horita and Mikio Takebayashi

ジ構造を図2、3のように簡略表示することができた。これらの結果から、「風の又三郎」の文学内空間のイメージ特性をあらわす重要な語が表2のように抽出された。ここで、キーワードというのは、文学全体を象徴する語で文学のテーマ性と深いかわり合いを持つものである。最重要語は、文学における心象風景の象徴語、関係語は最重要語間の関係を表す語である。その他に分類された語は、前述の語ほど文学イメージの特性に寄与しているとはいえないが、童話イメージの影響をプラスの方向に受けた語としてピックアップされたものである。

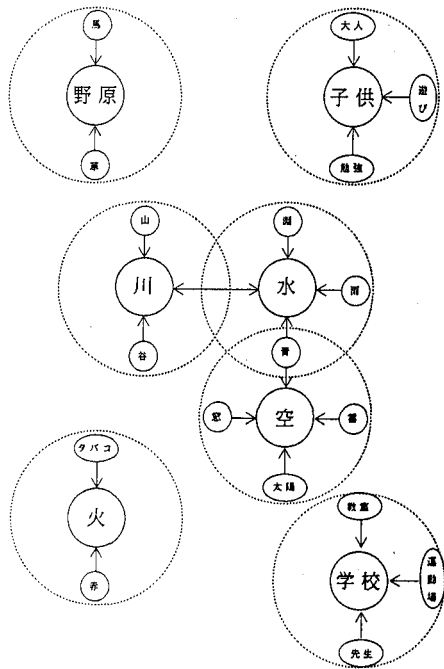


図-2 イメージテーマの関係(事前)

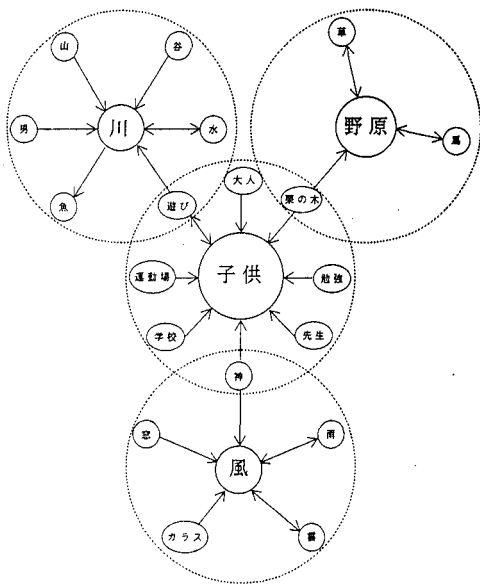


図-3 イメージテーマの関係(事後)

表-2 童話イメージの被影響語の分類

3. 計画に向けて 今回の分析結果を利用して、計画案を提案することができる。それは、「川」「野原」「風」「学校」という語によって象徴される活動の場を「子供」というテーマのもとで一体的に整備してゆくというものである。具体的には、自然をうまく生かしながら全ての要素を統合した「青空教室的公園」であるとか川の水や風を入力とする「サウンドスケープ」の計画が考えられる。そこには「川」「野原」「学校」「風」のそれぞれをテーマにしたエリアを設け、一体的な整備が行われる。そして、栗の木などを用いたシンボル計画を合わせて行うことにより、他の地域とのイメージの差異化がはかられ、地域としての自然なイメージのまとまりを得ることができよう。

風の又三郎のキーワード	「子供」「風」
-------------	---------

最重要語 (イメージターム)	「子供」「風」「川」「野原」
関係語	「栗の木」「神」「遊び」
その他	「学校」「ガラス」「煙」「魚」「潮」「馬」「雨」「草」「先生」「男」